

井伏鱒二著作年表

(昭和二十一年～四〇年)

まえがき

井伏鱒二作品年表の完全なものは、まだ作成されていない。ここではその試みとして、ひとまず戦後二十年間(昭和二十一年～四十年)を手がけた。

1 調査にあたっては、雑誌、新聞の類では『文芸年鑑』、『国会図書館雑誌目録』を、単行本、全集の類では『出版目録』、『国会図書館集書目録』を一応の基本文献とし、ほかに筑摩書房版『井伏鱒二全集』の後記、諸種の年譜等で補った。また、雑誌、単行本とも、可能な限りは原誌に当るよう努めた。

2 体裁は、発表年月順にし、同月のもは概ね、小説、隨筆、書評、童話、詩、座談会、単行本、全集、文庫本の順に配列した。うち、詩については()内にその旨を明示しておいた。

3 形式は、作品名(発表機関)、または『書名』(出版社)とし、叢書名はA、Vで示した。

4 発表、発行が長期にわたるものは、最初の年月に一括した。

5 再録、再版と思われるものは原則として省略した。

6 発表月未詳のものは、その年の末尾に記した。

7 雑誌未発表、筑摩書房版の全集に初出のもので、執筆年月を記しておいたものもある。

作成にあたってはできるだけ正確、詳細を心がけたつもりであるが、調査の不備のために、遺漏、誤りも多いかと思う。今後とも補整に努めたい。

なお、本稿は、伊藤真一郎、宇野憲治、梶谷美智子、寺西朋子の共同作製による。

昭和二十一年(一九四六) 四九歳

一月 契約書(文芸春秋別冊一 二月、五月に続載) 三月 『雨の歌』(飛鳥書店) 四月 経筒(新生) 二つの話(展望) 五月 波高島(改造) 『仲秋名月』(地平社) 六月 佗助(人間) 七月 『オロシヤ船』(新星社) 『鶏助集』(鷺ノ宮書房) 九月 追刺の話(素直) 一〇月 『まげもの』(八現代文学選20 鎌倉文庫) 十一月 橋本屋(世界) 当村大字體ケ森(中央公論) 『多基古村』(政治社) 十二月 『佗助他二篇』(鎌倉文庫) 『風貌姿勢』(三島書房)

昭和二十二年(一九四七) 五〇歳

一月 引越やつれ(新潮) 夏まつり(社会) 魚拓(アサヒグラフ 詩) 『多基古村』(札幌青磁社) 二月 『夏の狐』(三島書房) 三月 兎の仔(花) タケリンさん(文芸春秋) 『ジョン万次郎漂流記』金子尚一英訳(日英文化協会) 四月 かすみ(朝日評論 詩) 『追刺の話』(八現代文学選4 昭森社) 『ジョン万次郎漂流記』(文学界社) 七月 高田館(新潮) 手紙のこと(日本小説) 八月 鮑釣り(日本読書新聞) 九月 牛込鶴巻町(展望) 一二月 菓林館(文体) 鬼子母神裏(人間) 悪夢(文壇)

昭和二十三年(一九四八) 五一歳

一月 因ノ島(文芸春秋) 牛泥棒(サンデー毎日) 疎開記(文学界) 上林眺(群像) 中島健蔵氏のこと(オール読物) 峠の雪の朝(文壇 詩) 『山椒魚他十一篇』(新潮文庫) 『夜ふけと梅の花』(新潮文庫) 二月 文壇親交録(小説新潮) 三月 山峡風物誌(改造) 黒い蝶(文芸春秋 詩) 『井伏鱒二選集』(全九巻 筑摩書房) 一、二、四年九月) 四月 裁趣(文芸読物) 阿佐ヶ谷時代の横光氏のこと(人間美学) 疎開余録(サンデー毎日 詩) 五月 茗荷屋(光) 新さんの話(オール読物) 杠志子(婦人画報)

歌碑(丹頂 詩) 『引越やつれ』(六興出版部) 『詩と隨筆』(河出書房) 六月 復員者の噂(社会) タムリン夫妻(婦人) 借別(日本読書新聞、三〇日) 春宵(詩学 詩) 七月 勘三さん(八雲) 蛙(八雲 詩) 八月 バベの木かげ(作品) 不漁雜記(文学界) 太宰治のこと(文芸春秋) おしい人太宰君のこと(新文学) 太宰治の死(ホープ) 菊地・横光・太宰の想ひ出(新大阪新聞) 『貸間あり』(鎌倉文庫) 九月 白髪(世界) かの子と真沙子(サンデー毎日、一二月) 一〇月 婦人客(モダン日本) 亡友一鎌瀧のころー(別冊風雪) 恐るべき風月老人(書評) 私の鳥籠(小説界) 十一月 雀(明日) 十年前頃ー太宰治に関する雑用事ー(群像) 十二月 私の万年筆(文芸読物) 「阿部一族」について(心) 『シビレ池の鴨』(小山書店) 月未詳 『ドリトル先生船の旅』(全二巻 光文社)

昭和二年(一九四九) 五二歳

一月 虎松日誌(苦楽) 隣人(文芸往来) 二月 芳村氏の饒舌(別冊文芸春秋) 『かんざし』(近代出版社) 『ドリトル先生航海記』(八世界名作全集) ロフティング・井伏鱒二訳 講談社) 三月 立候補勧誘(展望) 重にて(文学界) 四月 懐中電気(新小説) 五月 普門院さん(改造文芸) 重い土産(展望) 點滴(素直) 六月 雨河内川(文学界) パパイア(文芸往来) 怪我をした記憶(アサヒグラフ) 七月 蒐集品(早稲田文学) 八月 本日休診(別冊文芸春秋) 一二月と二五年三月と五月とに続載) 九月 羽織(風雪) 因ノ道(別冊八雲) 一〇月 普門院さん(別冊八雲) マリア観音(文学界) 無智無能(作品) 満身瘡痍(新潮) 爺さん婆さん(群像) 鷲の巢(文芸読物) 一〇・十一月合併号) 太宰の背景を語る(一太宰治集上巻解説) 新潮社) 『試験監督』(文芸春秋新社) 堀り出しもの(この月執筆) 十一月 植木鉢(改造文芸) 一二月 をんなごころ(小説新潮) 月未詳 真夏のむつごと(サンデー毎日) 別冊中秋傑作集) グダリ沼(この年執筆)

昭和五年(一九五〇) 五三歳

一月 酸っぱいにはい(風雪) 田中英光氏の印象(一田中英光選集月報第1号) 月曜書房) 『多喜古村』(新潮文庫) 二月 鳥の巢(新潮) 遙拝

隊長(展望) 三月 郁達夫(世界春秋) お鳥の存念書(小説公園陽春号) 釣魚雜誌(つり人) 四月 尾呂村のお婆さん(文学界) いやな思ひ出(雄鶏通信) 五月 丑寅爺さん(中央公論) 仲人(新小説) 片棒かつぎ(サンデー毎日) 増刊号) 南部紀行(読売評論) 中村武羅夫さんのこと(馬酔木) 迂濶なこと(群像) ヴィヨンの妻(一現代日本小説大系月報第18号) 河出書房) 六月 松ぐみ(人間) 永井の会(文芸読物) 神近市子女史(小説新潮) 四月十五日記(三田文学) 『本日休診』(文芸春秋新社) 『多喜古村・普門院さん』(八現代長篇小説全集15) 春陽堂) 『井伏鱒二集』(新潮社) 七月 まねごと(オール読物) 支離滅裂(新潮) 物売り二題(改造) 八月 七月二日記ー太宰君の手紙に就てー(文芸) 七月六日記(文学界) 九月 見合ひ(世界) 『堀り出しもの』(創元社) 『井伏鱒二』(八現代日本小説大系別冊2) 河出書房) 一〇月 母校(別冊文芸春秋) 放談八題(群像) 『井伏鱒二集』(八現代日本小説大系52) 河出書房) 一二月 兎小屋の客人(中央公論文芸特集) 九月三日記(文芸春秋) 牧野信一のこと(文学界) 一二月 柿の芽(ニューエイジ) 屋根の上のサワン(文芸読物) 放火事件(別冊文芸春秋) 男やもめ(オール読物) 『ジョン万次郎漂流記』(八新児童文庫) 三十書房) 月未詳 陸奥白景(スタイル読物版)

昭和二年(一九五一年) 五四歳

一月 吉凶うらなひ(新潮) 一二月および一〇月に続載) 系図(サンデー毎日) 二月 爛徳利(芸術新潮) 引光寺(日本及日本人) 三月 霜焼けと「鳥エイサ」(オール読物) パイプについて(改造) 四月 引札(文学界) 折々草紙(二月十七日記) (群像) 気になる話(小説新潮) お島の語る秋帆先生(小説公園) 加山君のこと(中央公論) 『遙拝隊長』(改造社) 五月 夜番(別冊文芸春秋) アスナロの木(婦人画報) つらら(旅) 六月 風貌姿勢(小説新潮) カキツバタ(中央公論文芸特集) 植庄から貰った犬の仔(展望) 『ドリトル先生アフリカゆき』ロフティング・井伏鱒二訳(岩波少年文庫) 七月 いびつな群像(新潮) 断金隊(文学界) 丑寅爺さん(小説朝日) 岡部の陣屋(オール読物) あの頃の演劇青年(演劇) 八月 犠牲(世界) 烟霞苦渋(小説新潮) 比良の漁師(別冊文芸春秋)

九月 貧乏性(文芸) 木砲隊始末記(サンデー毎日新秋号) 眼鏡(日曜日) 『本日休診』訂正版(文芸春秋新社) 一〇月 『集金旅行・さざなみ軍記』(創元文庫) 十一月 味淡(文芸春秋) 『厄除け詩集』(木馬社) 十二月 ワサビ盗人(オール読物) 用語の矯正(言語生活) 『かきつばた』(八昭和) 新名作選(池田書店) 月末詳 画学生旅に出る(週刊朝日春季増刊号)

昭和二年(一九五二) 五五歳

一月 丸木橋(新潮) 樟脳の粉(早稲田文学) 交易不易(別冊文芸春秋) うぐひす(読売新聞) 『吉凶うらなひ』(文芸春秋新社) 『ドリトル先生のサーカス』ロフティング・井伏鱒二訳(岩波少年文庫) 二月 二つの像(心) 京見物(オール読物) 河川情況(二月執筆) 三月 鼠小僧(文芸春秋) 支離滅裂(わが青春3) (小説新潮) 湯河原沖(財政) 四月 人影(文学界) 口髭(文芸) 乗合自動車(別冊文芸春秋) 五月 再会(改造) 鐘つき男(小説新潮) 薬師堂前(オール読物) 『井伏鱒二集』(八現代) 日本小説大系45(河出書房) 六月 サイカチの木(サンデー毎日) 『川釣り』(岩波新書) 『ドリトル先生の郵便局』ロフティング・井伏鱒二訳(岩波少年文庫) 七月 晩春の旅(新潮) 長崎の醤油瓶(文学界) 追懐の記(文芸春秋) 文学者の見た十年間(座談会) 井伏鱒二・奥野信太郎・亀井勝一郎・河盛好蔵・坂口安吾・火野葦平(新潮) 八月 猫また小路(週刊サンケイ) 五日(二月二八日) 肉体について(世界) 外国文学(わがベスト5) (別冊文芸春秋) 教科書と私の文章(国語読本のこと) (文学) 九月 作家に聴く(井伏鱒二) (文学) 三味線唄(九月二十日記) (二〇日執筆) 九月十四日記(四日執筆) 『乗合自動車』(筑摩書房) 一〇月 山椒魚(文芸) 『奥の細道』の一週間(別冊文芸春秋) 十月十六日記(二六日執筆) 十一月 京都(一月執筆) 『本日休診・集金旅行』(八現代) 日本名作選(筑摩書房)

昭和二年(一九五三年) 五六歳

一月 炬燵明け(新潮) サイカチの木(新女苑) 骨董(群像) 二月 服部のお城山(別冊文芸春秋) 『さざなみ軍記』の史料(平家と自分に関すること) (文学) 三月 クラス会(オール読物) 『井伏鱒二作品集』(全六巻)

創元社 九月 ただし五巻までで中断 四月 へんろう宿(文芸) 小説(中央公論) 野辺地の陸五郎略伝(文芸春秋) 『晩春の旅』(八年度) 日本文学(昭和七年度) (筑摩書房) 五月 ある高校生(改造) 六月 灰皿(芸術新潮) 旗かぜ(オール読物) 『ドリトル先生のキャラバン』ロフティング・井伏鱒二訳(岩波少年文庫) 七月 かるさん屋敷(毎日新聞) (一月一六日) 平家物語(さざなみ軍記) (文芸) 作中人物の用語(新潮) 『純粹の声・風貌姿勢』(八現代) 日本随筆選(井伏鱒二・川端康成共著) 筑摩書房) 八月 堀辰雄(文学界) 堀君と将棋の香車(文芸) 源太が手紙(八月執筆) 九月 太宰君のこと(彼はサブタイトルの好きな作家であった) (文学界) 年中行事煙滅の一例(柳田国男著) 『不幸なる芸術』書評(文学) 随筆集『点滴』(要書房) 一〇月 辞書の不便(図書) 十一月 十一月十二日記(二日執筆) 十二月 前がき・捨遣洋之助の気焰(文芸) 御坂の碑(文学界) 安土セミナリオーその一(別冊文芸春秋) 『井伏鱒二集』(八現代) 日本文学全集41(筑摩書房) 月末詳 早春日記(週刊朝日春季増刊)

昭和二年(一九五四) 五七歳

一月 お嬢さん(新潮) 『井伏鱒二集』縮刷版(新潮社) 二月 宗湛と治郎作(別冊文芸春秋) 魚金さん(新潮) 二八年(二月執筆) 三月 漂民宇三郎(群像) (三〇年二月) 四月 彌助の奮戦(別冊文芸春秋) 石州わかめ(中央公論) 『若き日の旅』(河出新書) 『本日休診・遙拝隊長』(角川文庫) 五月 痴人(文学界) のち改題『白鳥の歌』 黒い壺(文芸春秋) 女中さん(新潮) 三月執筆) 三月上旬(オール読物) 三月執筆) 昭和文学小説白選(座談会) 井伏鱒二・伊藤整・高見順・永井龍男・丹羽文雄・河盛好蔵(新潮) 『井伏鱒二・太宰治集』(八昭和) 文学全集36(角川書店) 『井伏鱒二・川上徹太郎・中島健蔵集』(八現代) 随想全集22(創元社) 六月 神谷川の旦那(新潮) 四月執筆) 散歩の友(改造) 井伏鱒二より太宰治への手紙(文芸) 七月 落武者(安土セミナリオ) (その三) (別冊文芸春秋) タムリン(文芸) テクリン一家(新潮) 八月 難民その他(別冊文芸春秋) 雨の歌(2) (文学界) 九月 近

目と竹法螺(小説新潮)のち改題「法螺の音」さらに「貝の音」 『集金旅
行・さざなみ軍記』(角川文庫) 一〇月 小島村の話(心) 八月執筆) 庭前
(婦人公論) 八月執筆) 甲府(週刊朝日) 九月執筆) 艶書(新潮) 「熊」
について(文芸) のち改題「チェーホフの『熊』について」 下部の湯(旅)
一二月 塩の山・差出の磯(婦人面報) 九月執筆) 一二月 病中所見(世界)
ななかまどー或る贖物の話(文学界) 在所言葉・暮しの手帖) 時計、会、
材料その他(別冊文芸春秋) 『井伏鱒二・中山義秀篇』(八長篇小説全集15V
新潮社) 『黒い壺』(八昭和名作選6V新潮社)

昭和三〇年(一九五五) 五八歳

一月 早稻田界限(新潮) 二九年二月執筆) 二月 一別以来(知性)
河童の騒ぎ(週刊朝日別冊) のち改題「河童騒動」 『ななかまど』(新潮
社) 三月 遍照寺さん(文学界) 将棋観戦記(産経新聞か) 私の手控帖
(文芸) 一〇月 四月 子熊の夜遊び(新潮) 五月 伊之助の短文
(文芸春秋) 六月 開墾村与作の陳述(別冊文芸春秋) のち改題「開墾村
の与作」 弘光寺さん(芸術新潮) 『在所言葉』(修道社) 『通洋隊長・本
日休診』(新潮文庫) 七月 手洗鉢(文芸) 曾良の随行記(学鏡) 広島県
内早廻り記(広島風土記) (小説新潮) 五月執筆) 八月 再疎開(昭和20
年の自画像) (新潮) 九月 釣場(オール読物) 瀧井さんの釣(文学界)
一〇月 下足番(新潮) あの頃の太宰君(太宰治全集第1巻月報1) 筑摩書
房) 筑摩書房版の太宰全集(太宰治全集予告パンフレット)(二) 筑摩書房)
『片棒かつぎ』(河出新書) 一二月 「ダス・ゲマイネ」の頃(太宰治全
集第2巻月報2) 筑摩書房) 一二月 鳥悠の女将(別冊文芸春秋) 河盛好蔵
の履歴(新潮) 御坂峠にゐた頃のこと(太宰治全集第3巻月報3) 筑摩書
房) 『白鳥の歌』(筑摩書房) 『ドリトル先生月へ行く』ロフティング・井伏
鱒二訳(岩波少年文庫) 月未詳 喜乃といふ女(サンデー毎日新緑特別号)
昭和三二年(一九五七) 五九歳
一月 統の番号(世界) 修善寺桂川(新潮) いろいろ脚紙(群像) 祝賀
会の夜(二月執筆) 「懶惰の歌留多」について(太宰治全集第四巻月報4
筑摩書房) 『源太が手紙』(筑摩書房) 『山椒魚・通洋隊長』(岩波文

庫) 二月 来訪者(オール読物) 岡穂を送る(文芸) 詩) 『井伏鱒二・豊
島与志雄集』(八少年少女のための現代日本文学全集18V東西文明社) 『ジ
ヨン万次郎漂流記』(角川文庫) 三月 入歯(新潮) 戦争初期の頃(太
宰治全集第6巻月報6) 筑摩書房) 四月 易学雑誌(小説新潮) 甲府に
ゐた頃(太宰治全集第7巻月報7) 筑摩書房) 『漂民宇三郎』(講談社)
五月 報告的雑記(太宰治全集第8巻月報8) 筑摩書房) 『さざなみ軍
記』(八名作歴史文学選集31V彰考書院) 六月 水車は廻る(オール小説)
篠山街道(城といふものは廢墟になつてから美しく見える……)(別冊文芸春
秋) 太宰君の仕事部屋(太宰治全集第9巻月報9) 筑摩書房) 七月
蝙蝠座(小説春秋) 使い古しの蘭アラジ(オール読物) 選歴の鯉(暮しの手
帖) 八月 「が」「そ」 「し」 「かし」(文学界) ある草案(文芸春秋)
久慈街道(別冊文芸春秋) 牧野信(作家の若悩) (新潮) 『多基古村』
(岩波交庫) 九月 駅前旅館(新潮) 一三二年九月) 漫遊記(知性) カ
ラハナ草(暮しの手帖) むかしばなし(文学界) 蟹田の碑(太宰治全集第12
巻月報12) 筑摩書房) 『井伏鱒二・太宰治集』(八少年少女日本文学
選集18Vあかね書房) 一〇月 社交性(小説公園) 備前街道(別冊文芸春
秋) 一二月 『井伏鱒二・阿部知三・深田久弥・龍胆寺雄・伊藤整・藤沢桓
夫・堀辰雄・梶井基次郎・芹沢光治良集』(八現代日本文学小説大系47) 『ダ
ズム3V河出書房) 一二月 甲斐わかひと路(別冊文芸春秋) 太宰治のこ
と(文芸臨時増刊『太宰治読本』) 『井伏鱒二・尾崎三雄・林美美子・上林
暁・伊藤整・坪田譲治集』(八現代日本文学小説大系54) 『モリスム7V河出書
房) 『昭和名作集5』(八日本国民文学全集31V河出書房新社) 『屋根の
上のサワン』(角川文庫) 月未詳 将棋(三二年執筆)

昭和三二年(一九五七) 六〇歳

一月 徴用中の旅行(小説新潮) 泊町会(群像) 私の動物誌(東京新聞
夕刊) 一二月) 記者のいるいる(私は雑誌より人間に興味がある)(文
学界) 三二年執筆) 二月 河鹿(オール読物) 柏尾山(暮しの手帖) 三二
年執筆) 天城山麓(別冊文芸春秋) 「樞山節考」をめぐる一対談 深沢
七郎・井伏鱒二(文芸) 四月 近江路(別冊文芸春秋) 五月 光田君の

よこした地図(文芸春秋) 御近所のこと(中央公論臨時増刊文芸特集号)
南豆荘の将棋盤(雲母 三二年三月執筆) 「富嶽百景・走れメロス」あとが
き(岩波文庫) 『井伏鱒二集』(八中学生文学全集24▽新紀天社) 六月
十二本の山毛櫨(別冊文芸春秋 三五年三月前篇終了) 『還暦の鯉』(新潮
社) 七月 屋田君のこと(オール読物) 八月 ヤマメ(知性) 一〇月
小島代官所(サンデー毎日特別号) 蜜蜂塚(随筆サンケイ) 丸木橋に關す
る思ひ出(小説新潮) 『源民宇三郎』(ミリオンプックス 講談社) 『集金旅行』
(新潮文庫) 『しびれ池のカモ』(岩波少年文庫) 一二月 『駅前旅館』
(新潮社) 『七つの街道』(文芸春秋新社) 一二月 『井伏鱒二集』(八
現代日本小説大系新装第54▽河出書房)

昭和三年(一九五八) 六一歳

一月 御隠居さん(新潮) 病中雜記(世界) 大山・升田三番勝負觀戰記
(産経新聞 一日~三日) 二月 仮想演説(新潮) 四月 すいしよの
こと(小学三年生) 五月 竹馬の友勸蔵さん(小学三年生) 『平家物語』
(八日本国民文学全集9▽井伏鱒二、中山義秀訳 河出書房新社) 六月 トー
トーという犬(小学三年生) 七月 木靴の山(東京新聞夕刊▽一八七回
八日~三四年一月二日) 晩春実記(新潮) め組の半鐘(世界) 八月
わが愛する都市の記(市政) 平野屋さんの釣(小説新潮) 一〇月 リンダ
ウの花(声) のち改題「リンダウの花」 一二月 『河鹿』(筑摩書房)
『井伏鱒二集』(八新選現代日本文学全集1▽筑摩書房) 月未詳 魚辰さん
(別冊週刊サンケイ新春特別号)

昭和三年(一九五九) 六二歳

一月 珍品堂主人(中央公論) 九月 釣師・釣場(小説新潮二回)
一二月 月日へのブレイキ(新潮) のち改題「猫」 今月今日記一併句と
女史のアルバイト船(雲母 三三年二月執筆) 五月 艶書(新潮) 六
月 『貸間あり・おこまさん』(角川文庫) 七月 寓居(新潮) 八月 昨日
の会(新潮) 七浦の漁師原(世界の旅・日本の旅) 九月 太宰と料亭「お
もたか屋」(日本文学全集54巻附録) 新潮社) 一〇月 『珍品堂主人』

(中央公論社) 『木靴の山』(筑摩書房) 一二月 机上風景(質問に答へ
て) (文学界)

昭和五年(一九六〇年) 六三歳

一月 草野球の球審(新潮) 西海日報記者(小説新潮) 六月 プロロ
ーグとエピグラフの間違い(小説新潮) 二月 葦平さんの河童図(東京新聞
八日) 博多で逢った葦平さん(週刊朝日) 『釣師・釣場』(新潮社) 三
月 琴の記(週刊朝日別冊) 四月 四月二日記(朝日新聞 四日) 五月
『井伏鱒二集』(八日本文学全集32▽新潮社) 六月 一人一話(新潮) 七
月 お袋(小説中央公論臨時増刊号) 取材旅行(小説新潮) 三六年六月
八月 戦国総巻の大三島(旅) 螢の季節(新潮) 九月 七月二十三日記
(新潮) 『井伏鱒二集』(八少年少女日本文学名作全集23▽東西五月社)
『ドリトル先生航海記』ロフティング・井伏鱒二訳(岩波少年文庫) 『ふるさ
とを訪ねて 広島』(八少年少女文学風土記9▽泰光堂 編著) 一〇月 御
高評(新潮) 一二月 金谷完治(九月十九日) (心) 一二月 『駅前旅
館』(新潮文庫) 『保元物語・平家物語』(八日本文学全集▽井伏鱒二、中
山義秀共訳 河出書房新社)

昭和三六年(一九六一) 六四歳

一月 南島風土記(新潮) 二月 『昨日の会』(新潮社) 三月 『厄よ
け詩集』(国文社) 六月 『引越やつれ』(角川小説新書) 七月 野犬
(新潮) 『珍品堂主人』(中央公論文庫) 八月 武州鉢形城(新潮) 三
年七月) 九月 無心状(小説新潮) 『取材旅行』(新潮社) 『ドリトル
先生アフリカゆき』(八ドリトル先生物語全集1▽ロフティング・井伏鱒二訳
岩波書店) 『ドリトル先生と秘密の湖』(八ドリトル先生物語全集10▽
ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店) 一〇月 『ドリトル先生航海記』(八
ドリトル先生物語全集2▽ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店) 一二月
現代の埴輪づくり(芸術新潮) 『井伏鱒二集』(八現代日本文学全集70▽筑摩書
房) 『ドリトル先生の動物園』(八ドリトル先生物語全集5▽ロフティング・井伏
鱒二訳 岩波書店) 一二月 月の絵(別冊文芸春秋) 『ドリトル先生と緑

のカナリヤ』(ハドリトル先生物語全集11)ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店

昭和三七年(一九六二) 六五歳

一月 十月の日記(風景) 平野零児のこと(小説新潮) 『ドリトル先生郵便局』(ハドリトル先生物語全集3)ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店 二月 失念事(文芸春秋) 『井伏鱒二集』(ハ中学生文学全集24)新紀之社 『井伏鱒二・永井龍男集』(ハ日本現代文学全集75) 講談社 『ドリトル先生のサーカス』(ハドリトル先生航海記)オズのまほう使い・訳 岩波書店 『アメリカ編6』ドリトル先生航海記・オズのまほう使い・シートン動物記』(ハ少年少女新世界文学全集16)ロフティング井伏鱒二・バーム松村連雄シートン竜口直太郎訳 講談社 三月 『井伏鱒二集』(ハ昭和文学全集16)角川書店 『ドリトル先生のキャラバン』(ハドリトル先生物語全集6)ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店 四月 『ドリトル先生と月からの使い』(ハドリトル先生物語全集7)ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店 五月 『ドリトル先生月へゆく』(ハドリトル先生物語全集8)ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店 六月 『ドリトル先生月から帰る』(ハドリトル先生物語全集9)ロフティング・井伏鱒二 岩波書店 七月 余談―定本太宰治全集5―筑摩書房 『井伏鱒二』(ハ昭和文学全集16) 角川書店 『ドリトル先生の楽しい家』(ハドリトル先生物語全集12)ロフティング・井伏鱒二訳 岩波書店 八月 岡―埴輪の旅―(小説中央公論) 英語について(文芸朝日) 一〇月 表札(小説新潮) 故篠原陸軍中尉―「寄生木」のダイジェスト篇―(新潮) 一一月 石臼の話(毎日新聞ハタ刊) 三日 『溪谷』(有紀書房)

昭和三八年(一九六三) 六六歳

一月 子熊のクロ(新潮) 正宗さんのこと(文芸) 二月 誕生日(オール読物) 三月 『武州鉢形城』(新潮社) 四月 戦死・戦病死(小説中央公論) 五月 芦安一等兵(中央公論) 郷土部隊(オール読物) 亡友中村地平(新潮) ふるさとの音(文芸朝日) つかぬことを(小説新潮) 六月 南方ぼけの頃(新潮) 七月 『珍品堂主人』(角川文庫) 八月 割

草紙(新潮) 一二月 コタツ花(文芸朝日) 一二月 中込君の釣(小説中央公論) 『無心状』(新潮社)

昭和三九年(一九六四) 六七歳

一月 カラス(小説新潮) 横丁の話(新潮) 二月 稽古場へ行く道(オール読物) 三月 日記(風景) 四月 東油木村の藤八(オール読物) ある交友小説(新潮) イタドリ(週刊読書人) 六月 亡友の諧謔(日本経済新聞) 一九日 五月 茅ノ島所見(新潮) 六月 サクラランボ(小説新潮) 『釣師・釣場』(新潮文庫) 七月 笠雲(別冊文芸春秋) 阿部真之助さんのこと(東京新聞ハタ刊) 一三日 回想佐藤春夫一座谈会 井伏鱒二・檀一雄・中谷孝雄・安岡章太郎・山本健吉(文芸) 九月 先輩小説(新潮) 『井伏鱒二全集』(全二巻) 筑摩書房 一四〇年八月 『本日休診』(ハ現代日本文学英訳選書3)サイテンス・ブックス・シヨウ(グレン)訳 原書房 『七つの街道』(新潮文庫) 一二月 『備前・やまもの、その美その思い出』備前町観光記(金重陶陽) 葛西宗誠写真(ハ日本のやまもの5)淡交新社 『井伏鱒二名作集』(ハ少年少女現代日本文学全集34)偕成社 一二月 新日本名所案内35 伊豆松崎―(週刊朝日) 五日

昭和四〇年(一九六五) 六八歳

一月 姪の結婚(新潮) 八月号より改題『黒い雨』(一四一年九月) くるみが丘(オール読物) 二月 柴井谷部落(展望) 築山(国立博物館) 三 二日 弘光寺の杉戸―すまひ訪問―(木) 週間日記(週刊新潮) 二五日 二月 野村万蔵邸の能舞台―すまひ訪問―(木) 三月 廉登―すまひ訪問―(木) 四月 壺井邸の能の間―すまひ訪問―(木) 五月 ジョン万次郎漂流記(ハユニオン版日本名作選16)偕成社 六月 モグラの庭(心) 七月 上脇進の口述(小説新潮) 九月 河盛好威連載対談―河盛好威(井伏鱒二) (小説現代) 一〇月 『井伏鱒二集』(ハ現代の文学6)河出書房新社 一二月 田中英光氏の印象(田中英光全集通信第11巻)月報―芳賀書店 三 駅前旅館(角川文庫)